

地球環境変遷史		講義	非常勤講師 新井 健司	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200119	

1. 授業のねらい・概要

地球は、今から約46億年前に太陽系の惑星の1つとして誕生した。今日までの長い歴史の中で、地球にはさまざまな出来事があり、絶え間ない変化が続いてきた。中でも生命の歴史は、多くの謎に包まれた興味深い現象である。地球の歴史を編む上で重要なのが化石で、多様な古生物たちが地球環境の移り変わりの様子を見せてくれる。

この授業では、原始生命体の誕生に始まり、人類の出現に至る生物進化を中心に、これまでに解明された地球の歴史の道筋を辿る。太古の世界を想像し、推理しながら楽しく学んでもらいたい。

2. 授業の進め方

対面式を予定しているが、コロナの感染状況により遠隔式（オンデマンド型音声解説方式）に変更する場合もある。

3. 授業計画

1. 地質時代、生物の進化	9. 超大陸パンゲア、巨大火山活動と大量絶滅
2. 年代測定法、原始地球と生命の誕生	10. 爬虫類の発展
3. 光合成生物の出現と酸素の増加	11. 恐竜・海生爬虫類・翼竜の繁栄
4. 全球凍結と多細胞生物の発展	12. 巨大隕石の衝突と大量絶滅
5. ‘カンブリア紀の大爆発’とバージェス動物群	13. 哺乳類と鳥類の発展
6. 無脊椎動物の進化と植物・節足動物の上陸	14. 氷河時代と氷河性海面変動
7. 魚類の進化と上陸	15. ヒトの進化と地球環境
8. シダ植物の森林、両生類から爬虫類へ	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマについて、書籍・科学雑誌などで予備知識を持っておくと理解しやすい（約1時間）。特に生物の基本的な分類について、高校までに学習したことを見直しておくこと。遠隔式の場合は、毎回授業の後で理解度を確認するための小テストを出す。次回の授業の初めの正解の発表と解説を見て、各自で見直す（約30分）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第15回（最終回）の授業後に、期末試験を実施する。遠隔式の場合、小テストの解答および期末試験の解答はメールで提出してもらおう。小テストの不正解者には、再提出を指示するメールを送る。

6. 授業における学修の到達目標

地球史上の主要な出来事やそれぞれの地質時代を代表する古生物などが、年代順に把握されることと合わせて、生物と地球の間の相互作用とその影響がどのようなものかについて、正しく理解されることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

試験（50%）、受講態度（20%）、小テスト（30%）をもとに、成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

テキストは指定しないが、地名の確認のため、地図帳（日本・世界）を用意するとよい。

9. 受講上の留意事項

授業内容をよく理解した上で、試験・テストを受験すること。遠隔式の場合、解答の提出期限は必ず守ってもらいたい。やむを得ない理由で解答提出が遅れる場合は、必ずメールで連絡すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。